

迎春



平成28年1月4日(月)発行 【隔月(年6回)発行】

発行部署 : ソリューション営業第2本部ソリューション営業部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4600
発行責任者 : 日高 和重
お問合せ窓口 : 石山 義裕

第121号

【目次】

1. 2016年 新年ご挨拶
2. 派遣法改正について
3. 化学物質に関するリスクアセスメント実施義務化について
4. 技術検討会開催
5. 2015年度 全社安全QA大会開催
6. 菱化ロジテック社 優秀安全運転事業所表彰 金賞受賞
7. 新組織紹介 ~ヘルスケア営業部~
8. 場所紹介 ~包装・資材事業本部 事業統括部 横浜グループの巻~



1. 2016年 新年ご挨拶

取締役執行役員ソリューション営業第2本部長 日高 和重

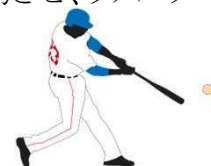
明けましておめでとうございます。旧年中は格別なるご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

昨年、日本経済は、個人消費の回復が緩慢なことや、中国経済の減速を要因として、生産・輸出が弱含んでいることなどを背景に、景気は足踏み状態でした。またデータ偽装・不正会計等の企業不祥事、火山活性化や豪雨被害等の環境変動、国際的なテロの恐怖と紛争への不安等、薄暗く先の見えにくい年でした。一方で、ノーベル賞受賞や、ラグビー日本代表が南アに勝った「歴史的快挙」には多くの方が快哉を叫ばれました。でも、かれこれ40年前の甲子園球児であります私にとって感慨深いのは、何と言っても流行語大賞にも選ばれた「トリプルスリー※」です。セ・パ各1名が達成し、所属チーム同士が最後にプロ野球日本一を争ったことが特に印象的でした。



今年は、円安の影響などによる持続的な物価上昇、海外景気の下振れなど懸念材料もありますが、良好な企業収益を受け設備投資は持ち直し、景気の回復は持続すると予測されています。また、当社は今年、「三菱化学物流20周年」(1996年社名変更)、「創業60周年」(1956年洞海産業(株)設立)を迎えます。これも、お世話になりました皆さまのお蔭と、改めて感謝申し上げます。併せて、中期経営計画『MCLC APTSYS 20』スタートの年でもあり、『KAITEKI物流』の担い手として物流のトリプルスリー(顧客ニーズ達成、安全QA確保(大前提)、物流コスト削減)に、運転手不足等益々厳しい業界の環境ではありますが、積極果敢に取り組んで行く覚悟です。

最後に、今年は是非、私の数年来の夢の実現に向けて第一歩を踏み出そうと考えています。それは、日本全国の各拠点を結んだ物流ネットワークシステムの構築です。小ロット貨物から大ロットまで、トラック・JR輸送を有機的に活用し、弊社にて現在構築中の「新統合物流システム:AJIOS」と連携させ、リアルタイムに一元管理することにより、各お客様へ安全、安定、安価な物流を提供できると確信しています。また今年の夏は、リオデジャネイロ五輪・パラリンピックも開催されますね。皆さまにとりまして夢のある良い年となりますよう祈念いたします。



※同一シーズンに打率3割・ホームラン30本・30盗塁を同時に記録すること(過去80年間で8名のみ)

2. 派遣法改正について

昨年9月30日に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律等の一部を改正する法律」、いわゆる改正労働者派遣法が施行されました。改正案については平成26年3月発行の本誌110号でご紹介しましたが、改めて主な改正内容についてまとめてみます。

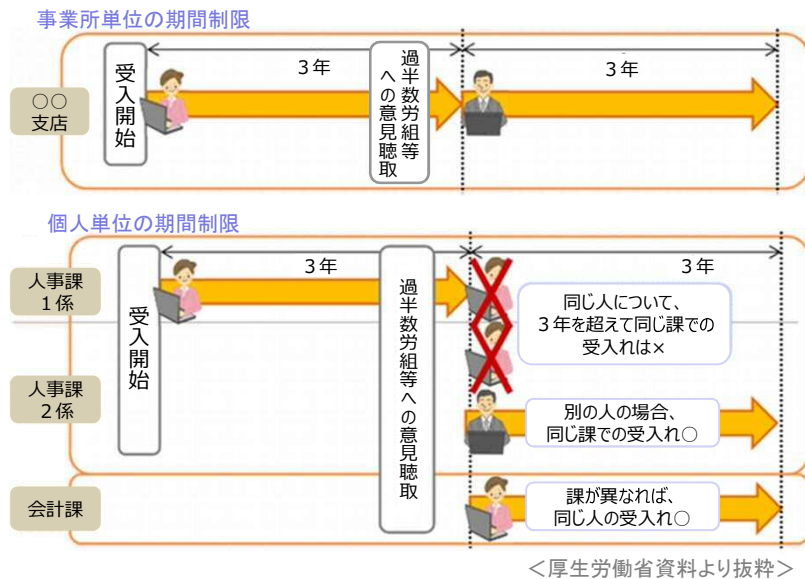
<改正労働者派遣法の概要>

- ①労働者派遣事業の許可制への一本化
- ②労働者派遣の期間制限の見直し
- ③キャリアアップ措置
- ④均衡待遇の推進
- ⑤労働契約申込みみなし制度
- ⑥その他

本改正においては、専門26業種の区分廃止による派遣期間制限適用への関心が高いようです。

しかし、それ以外でも派遣労働者へのキャリア形成支援の義務化(③)等、派遣元事業者に係る改正点も多く含まれています。また、派遣先に対しても賃金水準の情報提供や福利厚生施設利用に関する配慮義務(④)等の改正が行われました。

これらにより、冒頭の法律名でも示される「法の目的」が実現されるよう、適正な運用が望まれます。



3. 化学物質に関するリスクアセスメント実施義務化について

労働安全衛生法が改正され、化学物質についてリスクアセスメントの実施が義務化されます(2016年6月1日施行)。

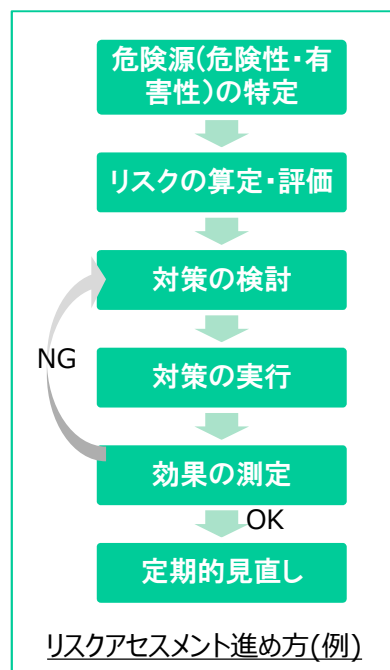
これは、化学物質による健康被害が問題となった胆管がん事案の発生などに即応し、労働者の安全と健康の確保対策を一層充実させるためのものです。

《概要》

- ・一定の危険性・有害性が確認されている化学物質による危険性又は有害性等の調査(リスクアセスメント)が**事業者の義務**となる
- ・事業者にはリスクアセスメントの結果に基づき、労働安全衛生法令の措置や、労働者の危険又は健康障害を防止するために**必要な措置を講じることが努力義務**となる
- ・対象の化学物質を製造し、又は取り扱う**全ての事業者が対象**

なお、「リスクアセスメント」とは職場の潜在的な危険性・有害性を見つけ出し、これを除去・低減するための手法のことで、その進め方としては大きく6つのステップがあります。(右図参照)

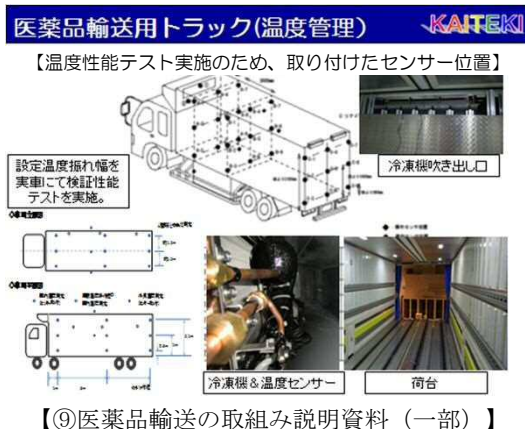
事業に関わる全ての人が当事者としてリスクアセスメントに関わっていくための継続的な教育や定期的フォローアップの内容が重要になります。



4. 技術検討会開催

2015年10月15日～16日 本社において第39回技術検討会を開催しました。本検討会は技術力向上と情報の共有化及び若手育成を目的として毎年開催し、検討内容に対して各支社、油槽所等から参加している方々から質問やアドバイスを受け、更なる技術力向上を図る場としています。

今回の検討テーマは、①黒崎支社:濃硝酸タンクコンテナ小名浜向け対応、②水島支社:新しい除電装置導入検討、③四日市支社:SE雨池倉庫遮熱塗装効果、④四日市支社:富山営業所応援内容紹介、⑤鹿島支社:倉庫設備不具合対応、⑥鹿島支社:筑波支店保全業務について、⑦尼崎油槽所:アニュラーレインシール検討及びタンク補修対応、⑧川崎油槽所:棧橋海上配管フランジ部の洩れ対策、⑨本社:医薬品輸送の取組み、⑩本社:防爆構造電気機器器具の選定について、⑪本社:トラブル未然防止のための要素技術紹介でした。設備管理(保全)技術紹介、新規技術導入検討など、不具合改善や新規業容拡大に繋がる検討結果の説明を、若手からベテラン(管理職含む)まで積極的に報告を行い、予定していた時間を大幅に超過する程、説明後の質問・アドバイスも多く、大変有効な検討会と成りました。今後はMCLC APTSIS 20達成に向け、化学品物流日本一を目指し、本検討会等を通じ各種技術情報の共有化と現場への積極的な情報発信を行っていく事とし、第39回技術検討会を終えました。



5. 2015年度 全社安全QA大会開催

11月11日、坂出支社において、26回目となる2015年度全社安全QA大会が開催されました。当社社長の石川以下、会社幹部出席の下、荷主様、菱化ロジテック社、協力会社の皆様にも多数ご参加頂き、鹿島・黒崎・四日市・水島・坂出の5支社、川崎油槽所、東日本エリア営業部、菱化ロジテック社に加えて、新たに仲間となった包装・資材事業本部である西日本エリア営業部長浜支店(山東)の発表に対して、活発な討議が行われました。

今回の発表では、労働災害、車両・船舶事故、環境トラブルの再発防止に向けた活動やヒヤリハットを中心とした不具合改善、4ラウンド危険予知、手順書見直し等によるトラブル未然防止活動、そして品質トラブル削減に向けた活動等幅広い活動が報告されました。また今回初めて協力会社(東海経連商事社)の方より発表を頂き、社員・子会社・協力会社の皆様と一体となった取組みが改めて確認された大会でもありました。正にMCLC APTSIS 15で掲げる「Gemba-ryoku」による化学品のKAITEKI物流の実現につながる活動と言えるものでした。社長の石川からは、「どの発表チームも問題点を定量的に把握し、改善内容を可視化している」とあり、「一人ひとりが注意し合って、協力し合って、助け合って安全文化を築いていき、RC活動をレベルアップして、MCLC APTSIS 20へ繋げていきましょう」との総評がありました。最後にゼロ災宣言で盛会裏に大会は終了しました。

6. 菱化ロジテック社 優秀安全運転事業所表彰 金賞受賞

当社子会社の菱化ロジテック九州支店輸送1グループが、福岡県の自動車安全運転センターから優秀安全運転事業所表彰の「金賞」を受賞しました。

この表彰は、職場全体で安全運転や交通事故防止に努め、運転記録証明書の分析結果において一定の成果を上げた事業所に対して贈られるものです。その中の金賞は、3%程度しか受賞できない特別な賞のようです。

受賞した輸送1グループは、「日々、自分の為、家族の為、そして会社の為、に安全に運転してきた積み重ねが『金賞』という形に現れ、輸送1グループ全員で喜びを共有しています。今後も、更なる継続ができるよう輸送1グループ全員が無事故運動を続けていきます。」という強い決意をし、安全第一で業務を遂行しております。

